

取組の名称	障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）
目的	<p>本市においては、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、パラリンピックに重点を置いた「かわさきパラムーブメント」を掲げており、障害者スポーツの推進に取り組んでいる。</p> <p>障害者の継続的なスポーツの実施促進には、身近な場所でスポーツを実施できる機会の創出や、スポーツに関わる人の障害理解が必要である。そのため、学校や地域団体と協力し、障害者とスポーツをつなぐ人材育成の支援や、障害者スポーツ団体と連携したユニバーサルスポーツの大会の運営を通じた「支える体制」の強化により、障害者スポーツの実施環境の整備を図ることを目的とする。</p>
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業の取組 2. 実行委員会の開催 3. 総括
成果と課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業の取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 障害理解啓発コンテンツの水平展開 <p>5年間の取組成果である障害理解啓発コンテンツを市内に水平展開するため、対象に応じて内容を精査・再構築し、その実施過程や効果を検証した。</p> <p>ア スポーツを通じた障害理解啓発プログラム</p> <p>(ア) 目的</p> <p>絵本を活用し、障害に対する偏見・差別の意識軽減を図るなど、スポーツを通じ、多様性を尊重した社会の実現を目指す。</p> <p>a 絵本活用研修</p> <p>(a) 実施内容</p> <p>市内小学校等の教諭を対象に、共生共育の充実に向けた講義を行い、絵本を活用した「オープンエア」の考え方を通して、授業実践の模擬体験と解説講話を行った。</p> <p>また、班毎にコロナ禍における共生共育への取組や工夫について討論を行った。</p> <p>実施回数：1回 参加者：17名</p> <p>(b) 成果・課題</p> <p>アンケート結果から、受講することで、「障害理解が深まった」「障害についての見方や考え方が変わった」「学校に持ち帰り、共有したい」等、前向きな回答が多く得られた。個人のレベルアップだけでなく、学校で共有したいという声があげられた。</p> <p>研修後、受講した先生方が、各学校の教育活動において、別途、研修を実施したい等の要望もあり、障害に対する理解が広がったと考えることができる。</p> <p>今後の課題として、さらなる推進のためには、継続して啓発を図ることが必要である。来年度も、福祉教育の研究協力校情報交換会などで教職員向けの研修を行い、</p>

成果と課題	<p>教職員の理解を深めていきたい。各学校や市内で絵本が活用され、多様性を尊重した社会の実現を目指すことができるよう継続して取り組んでいくことが大切である。</p> <p>b 図書担当連絡会</p> <p>(a) 実施内容</p> <p>市内小学校・特別支援学校、中学校図書担当者連絡会にて、絵本「ワクワクのつくりかた」の紹介や読み聞かせのポイントについて、解説を行った。</p> <p>実施回数：2回 参加者：221名</p>  <p>[解説を聴講する参加者]</p> <p>c 紙芝居の作成・配布</p> <p>(a) 実施内容</p> <p>障害に対する偏見・差別の意識軽減を図るなど、多様性を尊重した社会の実現を図るため、絵本より多くの対象者や広範囲なスペースで読み聞かせできる紙芝居を作成し、配布することで、広く効果を展開した。</p> <p>作成数：150部 配付先：市内小学校・特別支援学校、市立図書館、社会福祉協議会等</p>  <p>[新たに作成した紙芝居]</p>
-------	--

成果と課題	<p>(b) 課題 更なる市内への普及を図る必要がある。そのため、紙芝居が配布先でどのように活用されているか情報共有を行い市民へ障害理解を広げていく。</p> <p>イ オープンエアメーカー（障害理解サポーター）養成講習会 (ア) 市社会福祉協議会講習会 障害理解啓発のための講習会プログラムについて、目的や手法を理解し、地域の人材発掘養成に活用していくことを目的に社会福祉協議会職員やボランティア相談員、ボランティア運営委員等を実施する。</p> <p>(a) 実施内容 地域包括ケアシステムの推進に欠かせない相互理解について、スポーツを通じた障害者の理解をテーマに講習を開催した。地域にオープンエアメーカー（障害理解サポーター）を増やすことを展望に捉えながら、障害理解の啓発を図るための解説を行った。 実施回数：1回 参加者：9名</p> <p>(b) 成果・今後の取組 アンケート結果より、受講者から意識の変化や、今後の業務へ活かしていきたいといった前向きな意見をいただくことができ、社会福祉協議会職員等に対しオープンエアメーカーの考え方を広げ、意識啓発を図ることにより、地域にオープンエアメーカー（障害理解サポーター）を増やすことに繋がった。 今後の取り組みとして、地域にオープンエアメーカー（障害理解サポーター）の人材を増やし、さらに各区で障害理解の啓発を図るため、ボランティア活動の振興を行っている各区社会福祉協議会で講習会を実施する。</p> <div style="text-align: center;">  <p>[熱心に聴講する参加者]</p> </div>
-------	--

成果と課題	<p>(2) 地域等と連携した障害者スポーツイベント等の実施 ア 実施項目 (ア) 地域等と連携した障害者スポーツイベント a オンラインイベントの開催 (a) 目的 新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、地域スポーツの主な担い手である総合型スポーツクラブが、障害者スポーツをオンラインで企画、実施し、障害者がスポーツをする機会や障害のあるなしに関わらず誰もがスポーツを通じて楽しみながら障害に対する理解を高めることのできる機会を提供し、今後社会で求められるオンラインでの障害者スポーツイベント開催のノウハウを習得する。</p> <p>(b) 実施内容 地域等と連携した障害者スポーツオンラインイベント 委託先：川崎市総合型スポーツクラブネットワーク</p> <div style="text-align: center;"> <p>2021年1月11日(日)まで公開中!</p> <p>—— ことは、あうちや とうえんで たのしもう～! ——</p> <p>やってみよう!</p> <p><small>（一部動画をクリックすると、動画プレイヤーに接続します。）</small></p> <p>したのしゃしんをえらんでクリック!</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【7月11日公開】 手作りゴルフ!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【7月11日公開】 手作りバドミントン!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【7月11日公開】 手作りテニスラケット!</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【7月11日公開】 手作りゴルフ!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【7月11日公開】 手作りバドミントン!</p> </div> </div> <p>—————</p> <p>[オンライン配信動画サイト]</p> </div>
-------	---

成果と課題	<p>b 川崎市長杯ポッチャ大会</p> <p>(a) 目的 市内において、地域や団体と連携して障害理解啓発を目的としたイベントを実施し、障害者がスポーツをする機会を創出するとともに、障害のあるなしに関わらず誰もがスポーツを通じて、楽しみながら障害に対する理解を高めることのできる機会を提供する。</p> <p>(b) 実施内容 第1回川崎市長杯ポッチャ大会 <u>※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止</u> 委託先：公益財団法人川崎市身体障害者協会 (川崎市障害者スポーツ協会) [予定時期] 令和3年1月23日(土) [予定場所] カルツかわさき 大体育室</p> <p>(c) 効果・検証 ①実績 [応募者数] 147名(選手のみ) レクの部(誰でも参加)の応募チームが、募集チーム数の24チームを上回り32チームの応募があった。応募チームの抽選を行い、参加チームを決定した。 障害のある方のみ参加できる競技の部についても応募チーム数を上回る17チームの応募があった。 8歳から78歳まで幅広い年代の方に応募いただいた。</p> <p>②検証 幅広い世代からの参加や、応募チーム数を上回る申し込みから、障害のあるなしに関わらず誰もが参加できる大会開催のニーズがあることが分かった。 今後についても市内へのポッチャ普及の取組を進めていく。</p>  <p>[市長杯ポッチャ大会のチラシ]</p>
-------	--

成果と課題	<p>2. 実行委員会の開催</p> <p>(1) 概要 有識者、スポーツ協会、特別支援学校、スポーツ推進委員、身体障害者協会、障がい者スポーツ指導者協議会、社会福祉協議会、総合型地域スポーツクラブ等の代表者及び行政関係部署により構成する実行委員会を2回(7月、3月)開催した。 その中で、障害理解啓発プログラムの水平展開に関わる手法や、総合型地域スポーツクラブ等と連携した障害者スポーツイベント等について協議・検討するとともに、実施の方向性について決定を行った。</p> <p>ア 第1回実行委員会 開催日：令和2年7月31日 成果：・スポーツを通じた障害理解啓発プログラムについて 紙芝居を作成するにあたり、読み手側が自由な表現ができるような工夫等のご意見をいただいた。 ・オープンエアメーカー養成講習会について DVDを活用した研修の開催手法や対象等の今後の展開についてのご意見をいただいた。 ・地域等と連携した障害者スポーツイベントについて 新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントをオンラインで開催する等の開催方法の変更や今後の方向性について、ご意見をいただいた。</p> <p>イ 第2回実行委員会(書面開催) 議題：・令和2年度「障害者スポーツ推進プロジェクト」委託事業完了報告に伴う業務実績報告書(案)について ・令和3年度の取組(案)について</p> <p>3. 総括 本年度は、障害理解啓発コンテンツの水平展開として、市内小学校等教諭を対象に、共生共育の充実にに向けた講義を行い、絵本を活用した授業実践の模擬体験と解説講話を行った。また、絵本より多くの対象者や広範囲なスペースで読み聞かせできる紙芝居を作成し、市内小学校・特別支援学校に配布した。さらに、障害理解啓発のための講習会プログラムについて、目的や手法を理解した地域の人材発掘養成に活用していくことを目的に社会福祉協議会職員やボランティア相談員等に実施した。このように広く効果を展開し、障害に対する偏見・差別の意識軽減を図った。 地域等と連携した障害者スポーツイベント等については、新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、特別支援学校の教師が障害者スポーツ体験できるメニューを手作りで作成し、在宅で楽しむ方法を動画で解説した。在宅時間が増加する中、自宅で障害者スポーツを楽しむ場や機会を創出することができた。また、市長杯ポッチャ大会は、緊急事態宣言により、中止したが、幅広い世代からの参加や、応募チーム数を上回る申込があり、障害のあるなしに関わらず誰もが参加できる大会開催のニーズがあることが分かった。 今後も、スポーツを通じて、多様性を尊重した、さらなる社会の実現に取り組んでいきたい。</p>
-------	---